



インスピレーションになる



例会日 ■平成 31 年 1 月 17 日(木) 会場 ■割烹八文字屋 開会点鐘 ■12:30 2018-19 年度 VOL 26

三春 RC テーマ:「、繋げようロータリー、繋がろうロータリー」

— 50年続いたロータリーが100年続きますように —

Contents:職業奉仕月間プログラム

【例会】司会:	三條安國 SAA	5.幹事報告
1.開会点鐘		6 各委員会報告
2.ロータリーソング「我らの生業」		7.職業奉仕プログラム
3.四つのテストの唱和		8.閉会点鐘
4.会長挨拶		

会長挨拶 (第49代会長 石川和広)



皆様今日は、お忙しい中、例会お集まり下さいまして有難うございます。1月は職業奉仕月間で今月の月信にガバナーメ

ッセージで世のため人のために尽くす奉仕活動をするため時間と資金が必要でそのためには仕事が順調でなければならない。仕事が順調なためには職場に高い倫理観が必要とっています。また、職業奉仕委員会情報のページでは決議23・34の説明がのってありまして三春の電話番号にも使われていますが、決議23・34の第一条には「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉

仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学はService above selfという奉仕哲学であり、He profits most who serves bestという実践理論の原則に基づくものである」と記載されているそうです。世のため、人のための「超我の奉仕」と道徳的経営で業界全体のモラルも高めようという「最も奉仕する者が最も報われる」という二つのモットーで奉仕理念を表しているようです。今世界中が「今だけ、カネだけ、自分だけ」の自国ファーストに陥っています。ロータリー精神が今こそ世界に必要とされているのかもしれない。本日の例会を通して三瓶職業奉仕委員長と共に職業奉仕を考える一日にさせていただきたいと思ひます。よろしくお祈りします。



幹事報告

第 49 代幹事 白岩 良子

1. 三條安国さんの受賞を祝う会
1月25日（金）6時 割烹八文字屋
2. 第28回 フットサル大会 2月3日（日）
開会式8時30分 町営体育館
3. 2018-19 県中分区 IM・新会員研修会 2月10日（日）



各委員会報告

◇大内富雄ガバナー補佐

1. 笠原宏男さん（本宮 RC）会葬お礼について
2. 2/10（日）に開催される IM、新会員研修会の参加お願いについて



◇橋本国春さん

RLI（ロータリー・リーダーシップ・研究会）に参加して今回12月9日に、宇都宮市の作新学園大学で開催されたロータリー・リーダーシップ・研究会パートⅢに参加しました。今回も第2550地区主催の研究会でした。

前回パートⅡ報告の際も話しましたが、ロータリー・リーダーシップ・研究会には、日本支部があり、その下で国内34地区のうち、現在20数地区で実施しているとのことあります。2530地区でも、この研究会を取り入れるために、今年度ディスカッションリーダー研修を始めました。ディスカッションリーダー研修会は地区主催で実施しています。

今回のパートⅢでも6つの課題（カリキュラム）について6、7人の小グループで、ファシリテーション手法（公平な立場での対話）で順次自分の考えを述べました。今回も研究会の冊子に基づき、一つの課題（テーマ）50分で6課題を行いました。例えば、今回の課題の、「公共イメージと広報」では、クラブの広報の対象者はだれか。とか、広告宣伝、広報及び公共イメージの違いは何か。等そう言うことを丸1日の研究会でしたが、今回は2回目なのでやりやすかったです。この研究会はパートⅠ、Ⅱ、Ⅲの3回、1回に6課題（テーマ）なので、18課題を行います。この研究会に参加して改めて、ロータリーについて幅広く考えさせられました。このことを今後に活かしたいと思っています。



職業奉仕プログラム

◇三瓶一壽職業奉仕委員長

職業奉仕 懇談会

趣旨

- 今まで常に理解が難しいと言われてきた職業奉仕。
- 今年度は石川会長にお願いして、会員各位の卓話のテーマを「職業奉仕の理念に立った自分の職業について語る」ことをやっていただいております。
- 各会員の卓話をいただくことで、様々な職業における職業奉仕の在り方を共有することができているように感じております。
- 特に各位の職業に対する理解と世代間の認識の共有理解が重要で、これらは今後のロータリー活動の在り方や若い世代の会員拡大のヒント、延いては「ロータリアンよどこへ行く・・・」の回答を導き出せるかもしれません。

本日の懇談会テーマは **「自己における職業奉仕で大事に思うこと、モットーは。」**

- 本日出席されている会員各位、簡潔な一言で紹介してください。

職業奉仕について考えるようになったのはRC入会してから。(I)

公共事業は人のためになる。地域の人々のライフラインを守る使命感(Si)

お客様から信頼してもらえることをモットーとする。車・レクサスの様(Sa)

間違えずに正しく伝える (To)

スタッフの生活を守ること。マッチング(Hu)

謙虚な姿勢、お客様の目(口ほどにものを言う)を意識(Ka)

モットーは優しく・真面目に・大事に・いい酒を売ること(Wa)

農村の活性化と環境保全を考えて(Ku)

RC・異業種交流、自己の学びを高校生に伝える。職業奉仕→社会奉仕へ(Ma)

つなぐこと。地域づくり会社(Ma)

目配り・気配り、思いやる(Sa)



社員の給料を確実に払えること、自己(健康)管理(Ya)

事業継続⇐社員を大事に⇐お客様を大事に、スローフード、家庭の味(No)

このように様々なモットーを紹介していただきました。

結論じみたことは言えませんが、各位のお話しから共通して言えることは相手を慮ること。

尊敬の念を持つこと。これらの信念のもとに活動する。



「超我の奉仕について」

昨年8/23の会員卓話の時に、喜多方RCの佐原PGが「RI超我の奉仕賞受賞祝賀会」に参加してきたことを紹介しました。

○各位はこの「超我の奉仕」とはどのような奉仕かと聞かれたらどのように答えますか。

「超我の奉仕」についても何人かから意見をもらうことができましたが、皆さんからはこのことに対しては、漠然としたイメージしか思い浮かばないようですが、大層なことと捉えるのではなく、日常からご自分の立場を通した思いやりを持った奉仕を心がけること。その継続が結果として「超我の奉仕」と言われるくらいに、外から見て大きなものに成って行くイメージのようです。

兎に角、「奉仕」難しくとらえる必要はありませんが、奥が深く、常にロータリー、社会交流を通した中で磨かれて行くと思いました。

これからもこのような機会を度々作り、意識の共有を図りたいと思いました。

閉会点鐘



国際ロータリー第2530地区
三春ロータリークラブ



			TEL	FAX	E-mail
例会場	割烹文字屋	三春町字大町 18-1	62-5757	62-3174	hashimoto@8monjiya.jp
事務所	〒963-7759	三春町八島台 5-3-9	62-2334	62-2334	rcmiharu@gmail.com
会長	石川 和広	三春町字中町 1-1	62-2630	62-2222	dr-kazu@joy.ocn.ne.jp
幹事	白岩 良子	三春町字南町 55-3	62-6024	62-6034	yoshiko@fd-const.com
会報	渡邊 宏二	三春町字荒町 60	62-2410	62-2410	yamadai@orange.plala.or.jp